



ふなばし ♥ あったかんぱにー

令和4年度 船橋市障害者雇用優良事業所表彰

表彰事業所の取組み紹介



近年、障害のある方の雇用状況は着実に改善されており、本市においては職場実習先の開拓と共に、職場実習を受け入れた事業所に対して奨励金を交付するなど、障害者雇用を推進しています。

今年度の調査では、従業員43、5人以上の市内事業所で法定雇用率（2.3%）を達成する企業は45.6%であり、更なる推進が必要と考えられます。（令和3年度千葉労働局による障害者雇用状況調査報告）

そこで、障害のある方を雇用率以上に雇用し、働きやすい環境を作るための工夫や、職場実習の受入れを積極的にを行っている事業所などを優良事業所として表彰し、広く公表することにより、これから雇用を考える事業所へのアプローチを図りたいと、平成26年度より「船橋市障害者雇用優良事業所表彰 ふなばし ♥ あったかんぱにー」を実施しております。

応募のあった市内事業所について審査し、今年度は2事業所が表彰されました。

その優れた取組みをご紹介しますので、今後の障害者雇用の参考にいただければ幸いです。

令和5年1月

船橋市経済部商工振興課
TEL 047 (436) 2477

※表彰制度については、船橋市ホームページをご覧ください。

※本文中の数字は、令和4年6月1日時点のものです。

株式会社ホエル



「喜努愛楽を共有する」理念

株式会社ホエルは、船橋市内でコンビニエンスストア「セブニーイレブン」をフランチャイズで運営しています。平成13年に船橋夏見1丁目店をオープンし、令和4年10月現在、4店舗の運営をしています。船橋市と株式会社セブニーイレブン・ジャパンが連携して運営する「インフォメーションセンター」を併設した船橋駅南口店など、常に新しい挑戦をしています。今後も数店舗の開店を予定し、事業の拡大を目指し、人材採用にも積極的に取り組んでいます。

企業理念は「喜努愛楽を共有する」。代表取締役の鯨井祐介さんは、全員が楽しく働くことを大事に考えます。

細分化した仕事で1時間から

就労訓練者を受入れ

事業拡大に伴う人材採用に取組む中、鯨井さんは、慢性的な人手不足に悩んでいました。コンビニエンスストアの仕事希望する人が減り、アルバイトも定着しなかったのです。

そんな時、経済団体の会合で、船橋市から生活困窮者などの相談支援を受託している法人の方と知り合い、「様々な理由で就労していない方たちに、就労訓練の場を提供してもらえないか」と打診されました。

「人手が足りない企業と働きたいのに職場がない方」のギャップ解消の必要性を感じた鯨井さんは、すぐに受け入れ体制を検討しました。コンビニエンスストアの仕事は接客だけではなく、清掃や商品の補充など多岐に渡ります。それを細分化してみたところ、「短時間であってもやってもらえらる仕事があり受入れ可能」だとわかりました。

「お客様と接するのが苦手、計算が苦手、深夜に働きたい、1時間だけでも働きたい」など、希望は人それぞれです。仕事の細分化をすることで、対応できるのです」と、鯨井さん。

障害のある方にも仕組みを応用

こうして超短時間からの受入れ体制が整ったことで、障害のある方の

体験やアルバイトにも応用が可能になりました。

「収入を得るためにフルタイムで働きたい」「社会に出る一歩にしたい」ので週1日1時間で働きたい」など、さまざまな希望がありますが、基本的に断りません。その結果、株式会社ホエルでは、5区分だったスタッフシフトを、20区分以上に増やしました。

また、バックヤードでの商品補充作業、店内での商品整理など、本人の特性や希望に合わせた仕事を選びます。新たに、移動販売車の商品準備や同乗、自動販売機への飲料補充などの仕事もできました。

こうして、現在は4人の障害のある方が働いており、勤務時間は週1日1時間から週5日20時間と様々です。

急な休みにも対応できる

4人のうち精神障害のある方が3人、知的障害のある方が1人です。体調に波があったり、家庭の事情

があったりして、急な遅刻早退や休まざるを得ない場合があります。そのため、障害のある方たちの勤務日にはスタッフの配置にも余裕を持たせ、柔軟に対応ができるようにしています。また、店長をはじめとするスタッフがそれぞれの配慮事項を把握しており、気を配りながら一緒に働いています。

選肢肢をいろいろ用意する

これまでに障害のある方の職場実習受け入れや雇用している船橋本町店店長の小田島康子さんは、「最初に『こういう仕事はどう？』『埃っぽいのは苦手？』などざり気なく聞き、接し方に気を付ける点などを把握します。また、いろいろな仕事の提案ができるよう、選肢肢を多く用意しています」と話します。

こうした気遣いは、「週1時間の勤務であっても、店側は実のある1時間にしなければならぬ」という鯨井さんの考えにも通じます。「発展性、やりがいのある仕事にするため、本人の希望があれば新しい仕事にもチャレンジしてもらいたい」と、小田島さんは話します。

障害のある方以外にも、高齢者施設から軽度認知症高齢者、精神科クリニックデイサービスの利用者が1日1時間の有償ボランティアに来ており、「社会との関わり」を持つための貴重な機会を提供しています。



代表取締役 鯨井祐介さん(左)、船橋本町店店長 小田島康子さん

所在地: 船橋市夏見
業 種: コンビニエンスストア経営
従業員: 120人
障害者: 4人

- ★ 仕事やシフトなどを細分化し、誰にでも対応できるようにしている。
- ★ 配慮事項の共有など、サポート体制が整っている。



審査委員
評価
ポイント

株式会社杉本文堂

事務用品を扱って55年

事務用品や事務器具を販売している株式会社杉本文堂は、昭和42年に設立されました。令和3年に船橋市本町から船橋市卸売市場内の関連業者店舗棟に移転しました。

代表取締役の竹之内秀勝さんは80歳、経理を預かる妹の杉本洋子さんと共に、7人の会社を切り盛りしています。

小規模な会社で、お互いのことを自然に思いやる雰囲気のある、アットホームな会社です。

就業中に体調を崩した男性

営業を担当する男性は50歳。この会社で働いて10年以上になります。ひとり暮らしで食生活が不規則になりがちで、高血圧症の治療を受けて



家族のように親身に接する

おり、杉本さんたちは常々、体調を気にかけていました。7年前のある朝、出勤してきた男性が階段でうずくまっているのを発見。すぐに救急車を呼びましたが、腎臓の状態が悪く、そのまま入院になりました。1ヶ月後に退院することができたものの、1日置き的人工透析が必要になりました。

竹之内さんと杉本さんは、男性の退院前に病院を訪れ、主治医に「今後の男性の就労について、配慮するべきこと」を尋ねました。医師からは、「扱う荷物の重さや量に気を付けて負担を減らすこと。一日置き的人工透析を欠かさないこと」と指示がありました。このことは、男性の父親とも共有しています。

社内で配慮事項を共有

竹之内さんは、男性が仕事に復帰する前に、本人の了承を得て他の社員に医師の言葉を伝えました。心配していた社員たちは、積極的なフォローに協力しています。

復帰当初は退勤時間を3時間早くし、様子を見ながら戻していきまし。また、これまでの営業担当エリアを見直して狭い範囲にし、重い荷物を運ぶときには他の社員が同行する等、体への負担を軽減するよう気を配っています。

また、一日置き的人工透析で早退する際は勤務扱いにしています。

社内では誰もが自然に男性の体調を気にかけており、顔色が悪い時は事務所で事務作業をするよう勧めたり、早退を促したりしています。杉本さんは、「規模が小さな会社なので、家族のように気を配ることができている」と話します。

以前にも障害のある方を雇用

5年ほど前、取引先から紹介され、精神障害のあるふたりの方を雇いました。たことがありました。

ひとりは仕事に集中することが難しい方でした。それでも杉本さんが事務や商品の包装などを根気よく教え、2年ほど勤務していました。

もうひとりは、うつ病で家に引き込まっていた方で、週2日から勤務をスタート。生活リズムを整え、同僚

や来店客と話をすることで社会性を取り戻していききました。杉本さんは、作業スピードが遅い時も急かさず、「体調が良くないので休みたい」と電話があると「明日は出てきてね」と励ますなどしました。この方は転居のため2年ほどで退職しました。

竹之内さんは、「頼まれて『よし』と引き受けましたが、ふたりとも性格や得意なことが違うので、たいへんでした。しかし、雇用するからには笑顔になってほしいと努力しました」と振り返ります。

本人に働く意志がある限り

現在働いている男性は、こういった会社の配慮に感謝し、「体調管理をして働き続けたい」と言っています。竹之内さんは「本人が働きたいという限りは今まで通り働いてもらいたい。営業マンとして、得た情報を仕事につなげるなどの才能がありますから」と期待し、杉本さんも「どの社員にも家族のように愛情を持って接している会社です」と話しています。



代表取締役 竹之内秀勝さん

所在地: 船橋市市場
業 種: 事務用品・事務機器販売
従業員: 7人
障害者: 1人

審査委員
評価
ポイント

- ★ 主治医や家族と連絡をとり、生活面にも気を配っている。
- ★ 規模の小ささを活かして、家族のように親身に考えている。





これまでの「ふなばし ♥ あったかんぱにー」

※各事業所の取り組みは、ホームページでも紹介しています。

番号	表彰年度	表彰事業所	業 務
1	H26	船橋興産株式会社	廃棄物処理
2	H26	株式会社三和製作所 京葉物流センター	学校保健用品卸
3	H26	株式会社ティーエスケー	総合改修工事
4	H27	社会福祉法人健恒会	介護事業
5	H27	レビー・ケア株式会社	介護事業
6	H27	有限会社キヅキサービスステーション	新聞販売
7	H28	株式会社鈴徳 船橋営業所	金属リサイクル
8	H28	三和商事株式会社	保健衛生用品卸
9	H28	株式会社船橋リサイクル	再生資源処理
10	H29	株式会社ホンダベルノ市川	自動車販売整備
11	H29	株式会社日本都市	交通安全工事他
12	H30	有限会社エスエスティー サポートハウスまなび	介護事業
13	H30	株式会社てらお食品	スーパーマーケット
14	H30	株式会社船橋都市サービス	駐車場等の管理・ 運営関係業務等
15	H30	センコーファッション物流株式会社	道路貨物運送
16	R1	株式会社 ECHIGOYA	建築資材販売
17	R1	株式会社スペースケア	福祉用具レンタル
18	R2	株式会社ヒロハマ 千葉工場	缶パーツ製造
19	R2	医療法人社団弘成会	医療・福祉
20	R3	社会福祉法人観行会 杉の子保育園	乳幼児の保育
21	R3	コントラクト株式会社	職業紹介、物流
22	R3	有限会社草の実工房すずき印刷	印刷、Web 制作
23	R3	株式会社ティーエスケー	総合改修工事業
24	R3	社会福祉法人六親会 養護老人ホーム豊寿園	高齢者介護施設運営

令和 5 年 1 月

船橋市経済部商工振興課経営労政係

TEL 047-436-2477

FAX 047-436-2466

